



五十沢小学校だより

いのち かがやく

No.4

令和7年7月23日



【子どもの笑顔】を支える【保護者、地域の笑顔】と【教職員の笑顔】

7月2日（水）第1回学校運営協議会 ～学校の課題 地域の課題から考えよう～



南魚沼市で学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が導入されて3年目になりました。今年度は、1学期に学校運営協議会を開催し、学校経営について承認していただいたり、委員の任命書をお渡ししたり、今年度の活動の方向性を出し合ったりし、熟議を行いました。

これまで長く五十沢小学校の教育活動に携わってくださっている委員の方に、「学校の願い」と「学校の課題」をお伝えし、「地域の願い」と「地域の課題」をお聞きました。

令和7年度 五十沢小学校学校運営協議会委員

様（地域学校協働活動推進委員）
様（学校ボランティア）
様（五十沢地域づくり協議会会長）
様（五十沢青少年育成会会長）
様（前 PTA 会長）

五十沢小学校の願いとは

- ・明るさ 素直さ まじめさ
- ・自分で考え、進んで行動する
- ・ふるさとを愛し 命かがやかせる

五十沢小学校の課題とは

- ・メディアとの付き合い方
- ・学力 家庭学習時間



五十沢小学校区地域の願いとは

- ・いろいろな世代の人が関わるといいな。
- ・いろいろな経験ができるようにしたい。（泳ぐなど）
- ・一度は、五十沢をでたとしても、ふるさとに帰ってきてこの地を大切にしたい。

五十沢小学校区地域の課題とは

- ・子どもの数が少なくて活気がない
- ・子どもに一番必要な「遊び」がしにくい状況がある（熊、近くに子どもがいない、危険が多い、ゲーム、）
- ・子どもと老人(?)は、家庭の枠を出にくい

コミュニティ・スクールが両方の願い、課題を解決していく

これからの五十沢地域を見据えると、子どもの数が減っていくこと、子どもが外で遊びにくい社会になってきていること、家族単位での関わりが多くなり、地域全体で何かをすることが難しくなっていること等が、課題として挙げられました。これまでは、育成会や祭り、地域づくり協議会の活動で交流できていたことが、コロナ禍を経て大きく変わりました。地域のつながりや子どもの育ちのためには、保護者を含め地域の大人が意識してつながりづくりをしていく必要があると確かめ合いました。今後、どんなことができるか、熟議を重ねていきます。五十沢のために、子どものために、自分たちの幸せのために、ぜひ皆さんで考えていきましょう。

PTAプール開放の中止の検討から見たこと

7月9日（水）定例のPTA三役会の場で、昨今の熱中症事故の不安についての話題になりました。当校は、一昨年度のアンケートを経て、昨年度、「PTA プール開放を続ける」と決まり、今年度の実施に向け、地域PTAで役割を決め、救急法講習会を行って準備を進めてきたところでした。

昨年度、予報で気温34度を示したり雷が出たりした場合は中止ということにしていたのですが、予報がでてからしか決められないため、中止連絡が間近になる状況がありました。また、最近の気温から考えても、すでにプール開放期間も34度を超えそうな暑さです。プールに入っている時間だけでなく、登下校や監視者の健康を考えると、実施は大変厳しいです。

そこで、PTAプール開放運営委員会としての検討に切り替え、「今年度は中止」としました。その際、改めてアンケートを見直し、「実施したい」と考える方のご意見を検討しました。すると保護者は、「子どもたちの楽しみ」

「友だちとの交流の場」「家でインターネットやゲームだけで過ごさせたくない」「泳力、水慣れ」ということを願っていることが分かりました。

その保護者の願いは、大切にしたい。そう思ったときに、前述の学校運営協議会で熟議された「地域の願い」である「子どもたちに五十沢で『楽しかった』と思えることを経験してほしい」とプール開放を願う保護者の「子どもたちの楽しみ」「友だちとの交流」「外遊び」というキーワードと考えが重なることに気がしました。

プール開放の存続は難しくても、ちがった形で保護者の願いを叶えられる可能性が見えた気がしました。

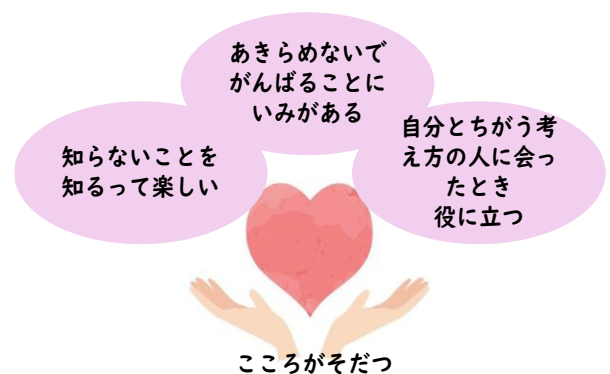
今後、コミュニティ・スクールの熟議に取り上げ、検討して、「実施したい」という保護者の願いに応えていきたいと考えています。

夏休みなのに 夏休みだから ～勉強はなんですか～

「八海健康 week」と「家庭学習時間調査」に向けてがんばった五十沢小学校です。私が子どもたちや教職員に掲げている「自分で自分をのばそうとする」「自分をつくる」ことが成果として現れた取組となりました。その成果をもって、いよいよ夏休みです。

一日の生活をつくる、自分で考えた学習をする、経験を広げる……。絶好の機会です。しかし、子どもたちにとっては、「いやだな、何で勉強するの」という気持ちと闘わなければならない期間でもあります。

7月の全校朝会で「なぜ学ぶのか」について以下のスライドを使って講話しました。



「何のために学ぶのか」池上彰さん

~~すぐキレたり、
落ち込みすぎたり、
あきらめたり
しやすい~~

けって
人に盗まれるこ
とのない
財産

問題が起きたとき、
何が問題なのかな、
どうすれば解決できるのかな、
ちがう方法はないかな、
と考えられる。

世の中には、信じていいことや、
正しいことかわからないことが
たくさんある。そのとき、自分
で考えて決められるようになる。

力をつけるのは学校だけじゃない

きになる
ことを
しらべる

いろん
な
たいけん
をする

じぶんで
くふう
する

家での勉強やいろいろな経験が、
より豊かで楽しい人生を送るための
力になる

なつやすみにぴったり！

少し、難しかったのですが、「心が育つ」「人生が豊かで楽しくなる」「世の中のことなどを自分で正しく判断しようとする力がつく」「すぐキレたり、落ち込みすぎたり、あきらめやすかったりしにくくなる」「自分の財産である」という、学ぶよさを伝えました。学ぶのは、学校だけではありません。まさに、夏休みだからこそできる学びもたくさんあります。

子どもたちにとって、そして、まだまだ学べる大人にもぜひ、学ぶ楽しさのある夏休みになることを願っています。

自殺対策基本法が改正されました。平成18年に施行されてから、増加傾向が続き令和6年度は最多の529人になったそうです。特に平成30年以降、約43%増となっており、10代の死亡原因第1位が「自殺」であるのはG7で日本だけ。インターネット等を通じて流通する自殺に関連する情報が影響を及ぼしているとのことです。

どうしてもメディア時間が長くなってしまいう夏休み。子どもが触れている内容を大人がしっかり把握し、上手に付き合えるよう、子どもたちを守っていただくようお願いいたします。